

おっちゃんだより

● 2020年度、1年間に巡回で出会った方々の数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
第1木曜日 若宮大通り	24	26	32	36	39	41	41	44	39	33	34	36
第1木曜日 午後の矢田川	4	5	5	5	5	6	6	4	3	4	4	3
第2木曜日 天白川	11	10	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9
第3木曜日 庄内川	16	17	16	15	13	14	15	13	13	12	12	11
第4木曜日 名古屋市広域	13	15	21	16	21	18	19	17	15	26	15	19

第1の名古屋市内と第4の名古屋市広域（全12kmコース）は自転車で食糧を乗せて巡回します。第2・3木曜日は「福信館」（炊き出しを作る所）から車を借りて巡回するので、参加されたい方は一緒に巡回出来ます。何う場所によって、持って行くものが違うので、「野の花」で仕分けをしてから訪問します。集合場所は名古屋市新栄の「野の花」で朝9時半集合で14時には終わります。

● 「Kさんの一円玉」

『おーい、今日もあるぞー』

Kさんが嬉しそうにビニール袋を顔の横にかざしています何かと言えば…コツコツと貯めた「1円玉の入ったビニール袋」です。今月はナント1.3kgで、合計1,635円です。Kさんは買い物をしたお釣りの1円を貯めておいて、何ヶ月かおきに私たちにそれを下さいます。

もうかれこれ5年にわたってコツコツと貯めて、これまでの合計は4,711円になります。アルミ缶や金属収集をお金にし、その生活費の釣り銭を貯めたものです。Kさん曰く『これぐらいのことしかワシにはできんから。まあ牧ねえにはお世話になっとるからな』と照れてるKさん。



牧ねえは『金額うんぬんじゃないのよねえ、彼が気にかけてくれるのがとても嬉しいね』

今日も牧ねえはKさんの血圧、酸素濃度を測り健康チェックをします。こうした関係性はKさんだけでなく、巡回している中で長く緩やかな活動の継続の賜物なのです。



● 『街を見る目』 新聞の内堀外堀に掲載されました。

路上生活者が暮らす中区の若宮大通りのガード下。パンやお茶を定期的に配っている看護師、東岡牧さんの支援活動に先日の朝、自転車で同行した。

ホームレスの住まいは高架下に小屋をかけた、ベッドを置いたりして点在する。「お酒、飲みすぎないでね」東岡さんはなじみの人たちに声をかけながら回った。血圧を測り、カイロを手渡すなど体調も気遣う。丸刈りのとつぎにくそうな中年男性は食品を受け取り「これで3日はしのげるよ」と明るい表情に変わった。

東岡さんが今、胸を痛めているのが若者の苦境だ。「親とけんかして居づらくなった」。コロナで仕事を失って実家を飛び出した若者もいる。いったい何人が路頭に迷っているのか。その実態も心の奥もつかみきれない。「何らかの形で私たちとつながってほしい」と東岡さん。支援の網から漏れた人がいないか、街を見渡している。（丸田稔之）



路上生活者が暮らす中区の若宮大通りのガード下。パンやお茶を定期的に配っている看護師、東岡牧さんの支援活動に先日の朝、自転車で同行した。

ホームレスの住まいは高架下に小屋をかけた、ベッドを置いたりして点在する。「お酒、飲みすぎないでね」東岡さんはなじみの人たちに声をかけながら回った。血圧を測り、カイロを手渡すなど体調も気遣う。丸刈りのとつぎにくそうな中年男性は食品を受け取り「これで3日はしのげるよ」と明るい表情に変わった。

受け取り、「これで3日はしのげるよ」と明るい表情に変わった。東岡さんが今、胸を痛めているのが若者の苦境だ。「親とけんかして居づらくなった」。コロナで仕事を失って実家を飛び出した若者もいる。いったい何人が路頭に迷っているのか。その実態も心の奥もつかみきれない。「何らかの形で私たちとつながってほしい」と東岡さん。支援の網から漏れた人がいないか、街を見渡している。（丸田稔之）

街を見る目

内堀 外堀